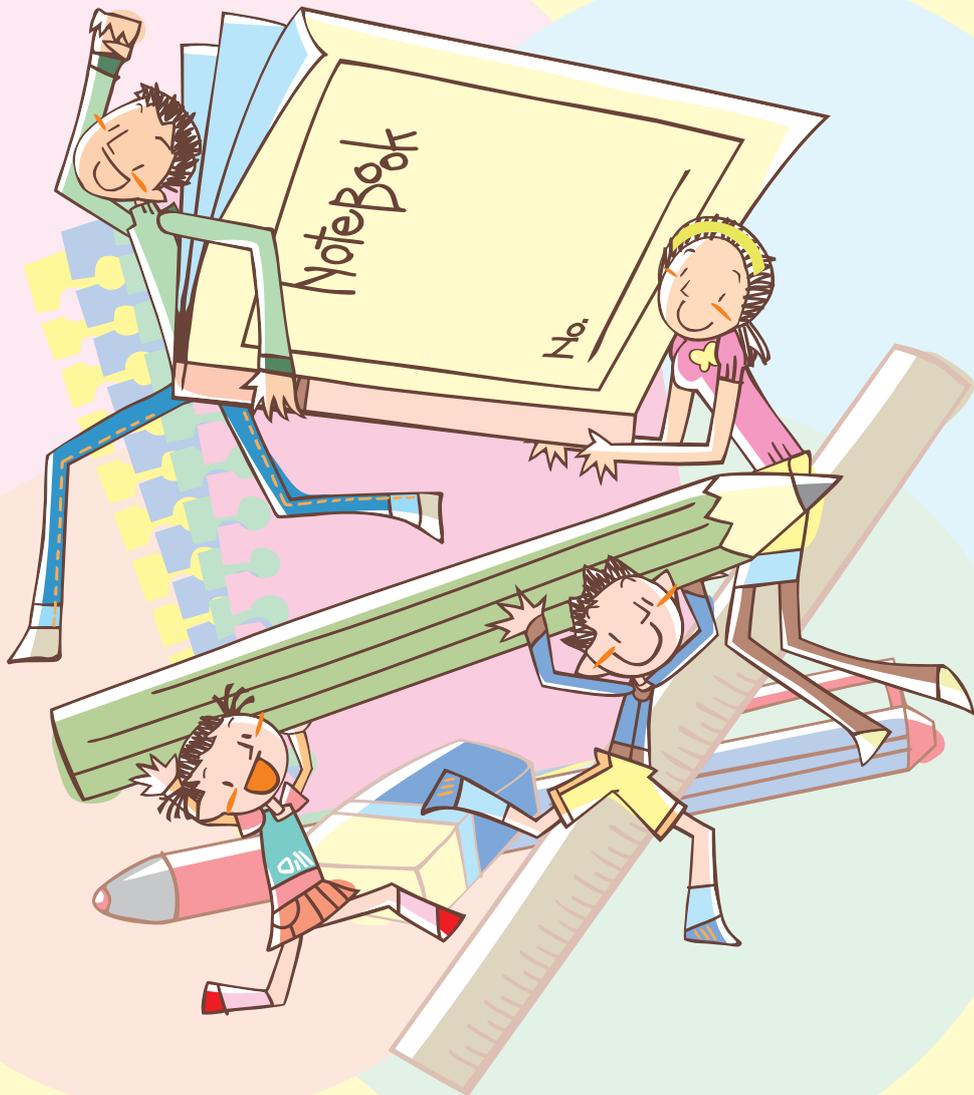


家庭学習の手引き

家庭を学びの環境に

～すすんで学ぶ子どもを目指して～





家庭を学びの環境に

～すすんで学ぶ子どもを目指して～



● 家庭学習の手引き ●

生活にリズムを！

「早寝早起きをする」「朝食をきちんと食べる」など、規則正しい生活リズムが日々の子どもの生活を充実させ、家庭学習の習慣化につながります。

「がんばり」を見のがさずに！

子どもの学習に目を向け、必要な声かけや見届け（点検）を行いましょう。ねばり強い努力を本気でほめましょう。

勉強時間を決めて！

最初は短く、だんだん長く。目安は15分×学年です。テレビを見ながら、おやつを食べながらはやめましょう。

すすんで学ぶ好奇心を！

身のまわりや社会の出来事に目が向くように働きかけましょう。PTA行事や地域行事への参加をすすめてみましょう。

読書に親しむ！

まずは家庭での読書や読み聞かせをしましょう。図書館や書店で本との出会いも楽しいものです。

情報（インターネット）との正しいつきあい方を！

役立つ道具ですが、同時に危険性もあわせてもっています。ルールを守り、家族の目の届くところで楽しく使わせましょう。

一緒に家事を！

家族の一員としての責任感と自立心を育てましょう。家族が協力して家事を行うことで、それぞれの大切さを学びます。

先生と連絡を！

わからないこと、困ったことは、遠慮せずに先生に相談しましょう。子どもたちのことを、先生と一緒に考えてみましょう。

保護者の皆様へ

～「確かな学力」の土台は、基本的な生活習慣の確立としつけ～

教育の原点は「家庭」にあります。子どもの教育は家庭から始まり、子どもたちは、家族との温かい関わりや体験を通して多くのことを学び、たくましく成長します。

ところが最近、「人との関わりが苦手」「学びへの意欲が低下している」など子どもたちの様々な課題が指摘され、家庭の学習面でも「学ぶ習慣は身に付いているのか?」「学習時間は確保できているのか?」などと、問われています。私たちは、今こそ学校と家庭が一致協力して、子どもたちに健康な心身と道徳性を育て、「確かな学力」を身に付けさせなければならないと考えます。

この「家庭学習の手引き」は、特に教科の学習に焦点を当て、各家庭で子どもたちが、自分の力で目標を持って学習を進めていけるよう、大切なことや具体的なアドバイス、ヒントなどを集めて作成しました。

しかし、家庭学習の習慣化を図るには、「早寝早起きをする」「挨拶をする」「家事を分担する」などの基本的な生活習慣の確立としつけが大切であり、まず家庭で取り組まなければならないと考えています。

私たちは、家庭における基本的な生活習慣の確立としつけを土台に、豊かな自然体験や社会体験を通して、子どもたちに、学ぶことの意味や楽しさ、人と関わることの素晴らしさに気づかせ、自分に自信と誇りをもってほしいと思っています。また、学んだことをぜひ家庭や地域での生活に生かしてほしいと願っております。

ご家庭の皆様にも以上の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いし、子どもたちの家庭学習がさらに充実するように、この冊子をご活用いただければ幸いです。

子どもの「学ぶ力」は 家庭学習から育ちます

そんな
大げさな！

と、思われるかもしれませんが、実際、家庭学習に励んでいる子どもたちには、自分に自信をもち、積極的にあらゆる学習に取り組んでいる子どもたちが多いのです。



もちろん、「学ぶ力」を育てることは学校教育の重要な役割ですが、むしろ家庭での関わり方によって、その育ち方は大きく変わります。

下の図のように、家庭（保護者）と学校（教師）とが「家庭学習」を通して協力し合うことが、子どもたちの「すすんで学ぶ力」と「心身の健康」を育てていくのではないのでしょうか。

家庭と学校とが協力し合って
子どもの「学ぶ力」を育てましょう。

- 生活リズムを整え、決まった場所と時間で**学習に集中できる環境**を
- 認め、励まし、対話のある**温かいふれあい**を



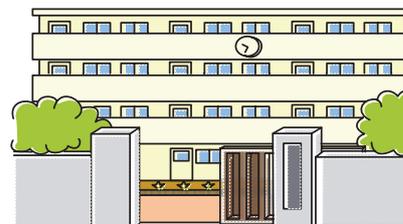
家庭で

すすんで
学ぶ力



心身の健康

- 基礎学力をつけ、学び方を教え、主体性を育てる、**学習指導**を
- 子どものよさを生かした、**家庭学習の提案**を



学校で

この
手引きは

- ・家庭学習の習慣化を目指して家庭教育を見直し、各家庭の事情に合わせた内容や方法を決めていただくための参考となるように作成しました。
- ・5ページからは、学年ごとに、家庭学習のポイントとなる事やら内容の具体例を見開きで載せています。
- ・学習上のきまりや約束をつくるために役立つアドバイスやヒントを集めています。

我が家の

「凡事徹底」と家庭学習

「当たり前の方が当たり前でできる」

いわゆる「**凡事徹底**」を

あなたの家で、学校で、地域で
いろいろなところで、やってみよう。

- ・あいさつをする
- ・人の話を聞く
- ・相手を思いやる
- ・いじめをしない
- ・時間を守る
- ・靴を並べる
- ・清掃をする など

このアピール文は、平成 19 年 11 月に
全学校に向けて発信されたものです。

アピール文では、日常生活の中で、無
理なくできる行動を提起し、学校、家庭、
地域のあり方を問い直していこうと発信し、
様々な立場の方々から「よかった！」と
大きな反響をいただいています。

生活リズムの確立や規範意識・マナー
の育成など基本的な生活習慣の確立は、「**確
かな学力**」「**豊かな人間性**」「**健康・
体力**」の土台であります。

各家庭においては、「我が家の凡事徹底」
を決めて実行していただきたい思います。

足もとを見直す！

今こそ「**家庭を学びの環境に**」する努力が、子どもたちの未来に対する大人社会
の重要な課題であると考え、この「手引き」を作成しました。

すすんで学ぼうとする力は、

子どもが一番安心できる家庭で、安定した生活リズムの中、毎日学習に取り組む

ことで育ちます。

われわれ大人はもう一度足もとを見直し、決してその時々気分や感情に流されず、
大人としての責任を自覚して、家庭学習の充実を目指しましょう。改めるべきことは改
め、当たり前のごことは、当たり前のごこととして推し進めるとともに、家庭を学びの環境
に整えていきましょう。

ちよつとひとこと

「**時を守り、場を浄め、礼を正す**」という森信三先
生の言葉があります。

この言葉は、子どもたちだけでなく、我々、大人でも、
社会人として、また、人間としても大切なことを教えています。子どもは親（教師）を見て育つと言
われます。我々大人が率先垂範して、取り組んでいきたいものです。

- 時を守る** ● 時間を守ること。時間を守ることは、相手を尊重すること。そのことにより、自
分が信用を重ねること。
- 場を浄める** ● 掃除をすること。掃除をすることの意味は5Kで表され、気づく人になれること。
①きれいな場所にする ②心を磨く ③謙虚になれる
④感動の心をはぐくむ ⑤感謝の心が芽生える
- 礼を正す** ● あいさつをすること、返事をすること。あいさつをすることの意味は、心を開いて相手
に迫ること。